

核兵器をなくそう！ 被爆者を支援しよう！

核兵器廃絶

ネットワークみやぎ

核廃絶ネット通信

第5号

2022年

3月1日発行

1周年記念イベント 90名の参加で成功



1月22日、福祉プラザで「核兵器禁止条約発効1周年 核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足1周年 記念イベント」を開催しました。

オープニングは、毎年原爆死没者追悼平和祈念式典でも歌っていただいている、合奏団ふきのとうによる「銘文」。宮城県原爆被害者の会が仙台市錦町公園に建てた「いのり像」の銘文を合唱曲にしたものです。心に響く歌声でした。

開会のあいさつで、核廃絶ネットの木村緋紗子代表がいまだに禁止条約への参加を否定している日本政府に対しての怒りを述べ、これからも運動を続けていくと表明されました。



記念講演は、女優の斉藤とも子さんに「私の平和への想い」というテーマでお話していただきました。井上ひさしさんの戯曲「父と暮らせば」に出演されることをきっかけに広島を訪れて被爆者と出会い、その明るさと力強い生きざまに大きな感銘を受けたそうです。その後、原爆小頭症の子どもたちをもつ親の会「きのこ会」の活動を支援しながら、核兵器廃絶運動にかかわってこられました。被爆者の方から教えられた「灯々無尽」という言葉を胸に、「次々と語りつないでいけば被爆者の方の想いはいつか核兵器廃絶につながる、語り継ぐことが自分にできること」と確信をもって歩んでこられたというお話に、会場の参加者は大変励まされました。

続いて、斉藤さんに被爆者の瀬野としさんの4編の詩を朗読していただきました。朗読に合わせて、塚野純一さんのチェロと小川有紀子さんのバイオリンで演奏をしていただきました。素敵なコラボレーションに会場は魅了されました。

後半は、チェロとバイオリンの演奏です。バッハの曲を中心にソロ演奏をしていただきました。塚野さんは、毎年原爆死没者追悼平和祈念式典でも演奏していただいています。また、今回初めて出演していただいたハナミズ



